

せたよん客席

演目

一、**麴家サプライズ**
 落語 千両みかん

二、**麴家煮ころも**
 落語 転失気

三、**おとむ家蛸蔵**
 落語 短命

四、**神門久子**
 講談 西行鼓ヶ滝

五、**麴家どら馬め**
 落語 狸札

六、**麴家笑竹**
 落語 お見立て

中入り



麴家笑竹
 福岡県福岡市出身、世田谷区大蔵在住。
 落語を始めた動機にははっきりしたものがなく、魔がさしたように麴町落語塾に通い始めた。よほど水があつたのかその後はめきめきと頭角を現し、以来落語づけの毎日を送っている。古典落語の世界観をこよなく愛しているが、鑑賞用ではなくもっと生きた話にするためアマチュアならではの既成にとらわれない大胆な解釈で切り取り、客席を笑いと感動の渦に巻き込む。プロの落語家から感心するほど変な人だともいわれ、一度見たらファンになってしまう人も多い。



神門久子
 富山県高岡市生まれ。世田谷区鎌田在住。2000年ごろから砧南小学校読み聞かせグループ「モーニングスープ」に所属、2002年からカルチャーセンターで講談を習い、2003年より、神田愛山に師事。現在もモーニングスープの読み聞かせ時間に講談を口演している。そのほか小学校、ライスハウス、高齢者施設など各地で活躍中。毎年9月の「せたよんお月見とお話しの夕べ」も大好評。



おとむ家蛸蔵
 アマチュア向け落語塾「なまらく落語教室」にて立川談修師匠に師事をする。豪快な見た目通り、聞かせるよりも魅せる落語を得意とし、そこはかとなく滲み出る人の良さに虜となるファンも多い。私生活では2児のパパ、子ども受けは抜群!



麴家そら馬め
 群馬県高崎市出身。千葉県流山市在住。下北沢のお笑いライズで落語を聞いて以来、落語の魅力に取り憑かれ、勢い余って2013年秋に麴町落語塾に入塾。その後高座に上がる楽しさの虜になり本日に至る高座名の由来は「音が可愛かったから」。その為、特別そら豆が好きなのではなく、どちらかという枝豆の方が好きである。



麴家サプライズ
 おもしろくて、何だかちよいと様子がいいアマチュア落語家を目指して日々奮闘中!! お客さまの思い出に残る落語会になるよう頑張ります!!!



麴家煮ころも
 毎朝の徒歩通勤が貴重な稽古時間。新宿から四ツ谷まで30分。首を左右に振りながら大きな独り言で歩いている人がいたら温かい目が冷たい目で見てください。

●世田谷区立瀬田四丁目旧小坂緑地 東京都世田谷区瀬田4-41-21
 アクセス (バスを利用の場合)
 ・東急田園都市線「二子玉川駅」より:成育医療センター行き[玉31]、美術館行き[玉32] → 「日産玉川病院」下車、徒歩2分
 ・小田急線「成城学園前駅」より:二子玉川行き[玉07] → 「吉沢」下車、徒歩7~8分

せたよんフィールドミュージアム <http://www.re-forest.com/seta4/>

お問い合わせ **せたぼん・瀬田の本棚事務局** info@mizubedesign.org 080-3007-5413 (村上)

瀬田四丁目旧小坂緑地利活用の取組み<世田谷区みどり33推進担当部公園緑地施設管理担当>
 このプログラムは、世田谷区が運営する瀬田四丁目旧小坂緑地利活用検討会議の選定を受けて実施するものです。

